

新 ノートの極意 3年後、稼げるスキル

日経ビジネス [アソシエ]

2013 7 JULY

Associé

¥630

ボクサー 村田諒太

金メダル 奪取を 支えた

「未来ノート」を語る

「日経 Business Associe」 掲載

2013年7月号 (2013年6月10日発売)

新 ノートの極意

コツさえつかめば、メモが成果に変わる!

実例満載! こうすれば よかったのか!

好景満載!

藤田 晋 [キャリアアップ編]

永井重里 [気仙沼のはばり]

小笹芳夫 [耳の痛い話]

野地雅高 [店長図鑑]

根野俊明 [神のはなし]

「ブラック企業」体験思想家
「新興国進出」コンサルタント
データサイエンティスト
人事・介護・保育のプロたち
スーパーIT高生...
13人の「目利き」が見通す!

特集 2
目先の株面に陥らず、
10年先など夢想せず
3年後、
稼げる
スキル

もう一つ、格闘家が描く
日本人の課題は、「日本人の
目と市場を見ていること」だ。
「現地の人の物差しで見ないとい
けない。それができないとい
ふ、そういう目で見る人たちが
ビジネスのメンバーに入れば、
その意味を全く理解できないとい
うことになる。

インドを中心、中東、ア
フリカの新興市場に進出する
日本企業を支援しているコ
ンサルティング会社のエル
ス・パートナーズ。インドの
ムンバイに子会社を設け、約
4000人の社員を擁する。中
東・アフリカ地域の提携企
業を持つ。社長の松野小吉
さんは月の半分ほどをインド
に過ごす。

価値が上がる

- 機動力
市場に商品やサービスを迅速に
フィードバックを繰り返す。素早く反応している。
- 現地の人の物差し
日本人の物差しではなく、現地の人の物差しでやる。
相手の事情に真摯に向き合っている。
- 現地の人と一緒に仕事をする力
現地の優秀な人とチームを組む。マインドを一つ
一緒に歩むことができるようになる。

中国に次いで世界第2位の人
口大国であるインド。国際通貨
基金(IMF)が今年4月に発
表した「世界経済見通し」によ
ると、2013年度のインドの
経済成長率は7.7%。
2014年度は8.2%と予測
されている。日本の経済成長率
の予測は、2013年度1.1%
、2014年度1.4%
にとどまる。

新興国で勝つために 「完璧」と「目線」見直せ

機動力と高い経済成長が求められる新興国。インドを例に挙げれば、中東やアフリカへの市場開拓に必要。
日本企業の新規進出をサポートする海外投資家の日本人の目利きを挙げる。



「もともとインドは英国の植民
地で、英国の代りにアフリカ
を統治していたので、印のネ
マットワットが中東・アフリカに
ある。だから、インド企業はア
フリカに親和性を持っている。日
本が中東・アフリカに進出するのは
非常に強いイメージがあるが、
インドまで進出すればインド
人が日本の商材を使ってくれる
ところもある。」

このインド市場を人目と
して、世界中の企業が進出を
図っている。日本企業も課
題は多い。3年後を見据えて
新興国に進出の戦略を立てる。
まず知るべきは、その「ス
ピリット」だ。

アメリカのインフラが整備さ
れていなかったインドに突如
と、新興国では通好に接しない。
完璧の定義は国によって異なる。
どこまで完璧が必要なのかを
自分で判断すべきだ。
日本人の「完璧主義」は、現地の
文化や価値観と異なる。インフラな
ど、命に関わる分野では、徹底的
になる。松野さんが語る日本
企業で、生産現場の分野は正例
的に多い。個人消費ではなく、
B to B向けの機械や材料だ。
「アラブ首長国連邦(UAE)と
やサウジアラビアは、石油が主
な経済活動で、工業製品が主
な消費活動。天然ガスのインフラ
に特化して、天然ガスのインフラ
にある。これは水産技術、造船技術に
ついては、日本の技術が役立て
ている。こういう分野は得意で
ないといけないので、どんなに
相対していけばいい。」



インド企業と出会う松野さん。インドを拠点にアフリカを活動中。

価値が下がる

- 「完璧」主義
他国に開かれた商品以外には、人気が薄れる
可能性がある。30~40代が中心。
- 日本人だけのチームワーク
日本人だけのチームを組むことは甘
ん。最初は誰でも彼でも失敗する。

「完璧主義」は、現地の
文化や価値観と異なる。インフラな
ど、命に関わる分野では、徹底的
になる。松野さんが語る日本
企業で、生産現場の分野は正例
的に多い。個人消費ではなく、
B to B向けの機械や材料だ。
「アラブ首長国連邦(UAE)と
やサウジアラビアは、石油が主
な経済活動で、工業製品が主
な消費活動。天然ガスのインフラ
に特化して、天然ガスのインフラ
にある。これは水産技術、造船技術に
ついては、日本の技術が役立て
ている。こういう分野は得意で
ないといけないので、どんなに
相対していけばいい。」